

# ねりまの文化財

文化財に触れてみよう!

## 東京文化財ウィーク2007

11月1日から7日までは「文化財保護強化週間」です。全国的に文化財の保護と活用の推進を図るため、各種行事が行われます。

東京文化財ウィークは、これに合わせて都内全域で文化財を一齐に公開するとともに、区市町村教育委員会等で文化財に関連した事業を企画し実施するものです。実施期間は、公開事業が11月3日(土・祝)から11日(日)まで、企画事業が10月1日(月)から11月30日(金)までです。

練馬区では企画事業として

### ○文化財講座

「豊島氏と石神井城」(1頁)

### ○石神井城跡巡りと発掘パネル展

(2頁)

### ○郷土資料室企画展

「絵図にみる練馬」(2頁)

### ○史跡散歩「わがまち再発見

ねりまの文化財めぐり」(3頁)

### ○尾崎遺跡出土品解説会(3頁)

などを実施します。

公開事業としては、区内の国および都指定の文化財などが公開されます。

ぜひこの機会に練馬区の身近な文化財や歴史に触れてみてください。

なお、東京文化財ウィーク全体の事業内容を詳しく記したガイド冊子「東京文化財ウィーク」は、9月下旬に練馬区教育委員会文化財係や郷土資料室(石神井図書館地階)・区立図書館などで配布する予定です。また同内容が東京都教育委員会のホームページ上にも掲載されます。練馬区以外の事業にも参加できますので、こちらもご覧ください。

練馬区教育委員会  
生涯学習課  
(文化財係)  
Tel 3993-1111  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1

### 文化財講座

#### 豊島氏と石神井城

☆演題「石神井城からみる中世社会」

講師：齋藤 慎一

(東京都江戸東京博物館学芸員)

☆演題「豊島氏の盛衰と享徳の乱」

講師：片桐 昭彦

(練馬区郷土資料調査員)

### 【概要】

この講座では、石神井・練馬の両城を中心とした中世城郭がどのような構造や特徴をもっていたのか、城跡の発掘調査の成果などから考えます。

また両城を拠点とした豊島氏が、どのようにして石神井川流域の支配を展開したのか、そして、一五世紀後半、どのような政治や社会の動きのなかで扇谷上杉氏の政務をとった江戸城主太田道灌と対立して城を落とされることになったのか、その歴史背景について再検討します。

【日時】10月31日(水)

午後2時～5時

【会場】練馬区役所本庁舎

アトリウム地階 多目的会議室

【交通】練馬駅(西武池袋線・都営大江戸線)下車徒歩5分

【申込み】「ねりま区報」10月11日号

で募集。定員100名(無料、先着順)。

【問合せ】練馬区教育委員会文化財係

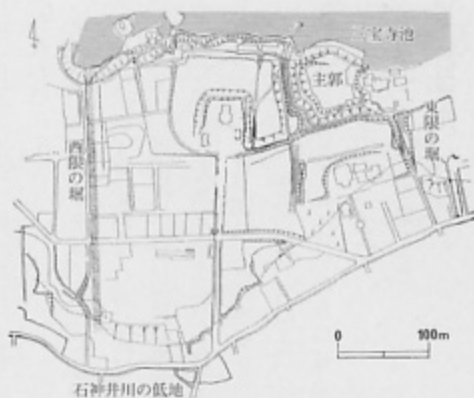
電話5984-2442(直通)

この文化財講座と次頁掲載「石神井城跡巡りと発掘パネル展」の両事業は、ともに石神井城を中心に練馬の中世に関心を抱いてもらう機会にしようと思画しました。文化財講座をお聴きになつた上で、城跡巡りと発掘パネル展にご参加いただければ、より一層理解を深められると思います。



石神井城跡

## 石神井城跡巡りと 発掘パネル展



①石神井城跡(中世豊島氏の城郭)とその周辺を解説を聴きながら散策するミニツアーと、②城跡発掘パネル展を行います。

### 【日時と内容】

#### ①石神井城跡巡り

11月3日(土・祝)

a 愛宕山聖コース(所要約1時間、  
出発午前11時・午後0時半・2時・  
3時の計4回)、b 三宝寺池南コース  
(所要約30分、出発午前10時半・11  
時半・午後1時・2時半の計4回)

#### ②城跡発掘パネル展

ウィーク期間中の3~11日(午前  
9時30分~午後4時30分)、普段は

入ることのできない石神井城のフ  
ェンス内において発掘調査した成  
果をパネルに展示します。自由に  
ってご覧いただけます。

☆11月3日(土・祝)

午前10時30分~午後3時

主郭跡において平成10年度以降  
の発掘調査で出土した遺物や、調査  
の歴史などの展示パネルもまじえな  
がら解説します。

【場所】都立石神井公園 石神井城跡

【交通】石神井公園駅(西武池袋線)

下車徒歩15分

【申込み】事前申込み不要。当日現地

で(無料)

【問合せ】練馬区教育委員会文化財係

電話5984-2442(直通)

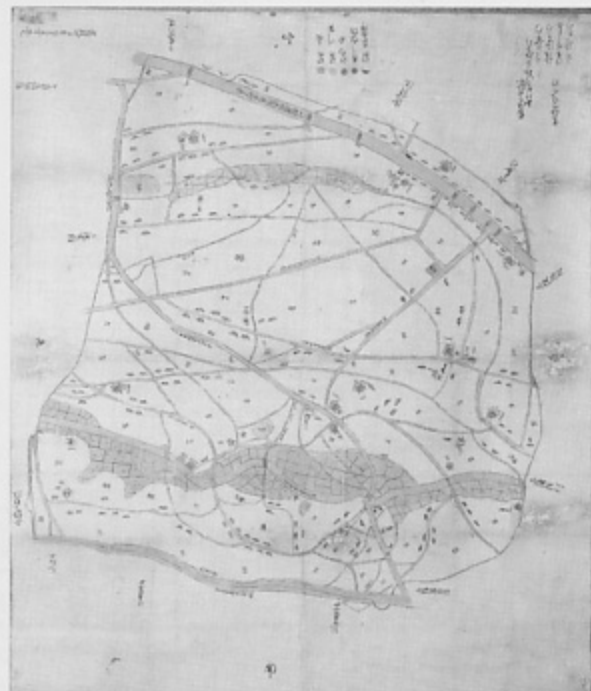


## 郷土資料室企画展

# 「絵図にみる練馬」

現在の練馬区域には、いくつかの村  
がありました。これらの村々は明治20  
年代に合併し、さらに昭和7年(一九  
三二)に東京市に編入され、板橋区の一  
部になりました。そして昭和22年  
(一九四七)に板橋区から独立して練  
馬区が誕生しました。

今回の展示では、練馬区域のかつて  
の村の絵図や村人の生活に関わりの深  
かった用水、鷹場たかばの絵図などを展示し、  
それぞれの地域のかつての景観をさぐ  
ります。是非お越しください。



**下練馬村絵図** 練馬区郷土資料室所蔵  
寛政4年(1792)の写し。元になった絵図の  
作成年代は不明。下練馬村は、練馬区域の東  
部にあった村。

○会場 郷土資料室

(石神井台1-16-31 石神井図書館  
地階、電話3996-0563)

○日時 10月27日(土)

~12月20日(木)

午前9時~午後5時

(月曜、11月22日(木)は休室)

※展示関連の資料集『絵図にみる練馬  
(1)』を、区民情報ひろば(練馬区  
役所東庁舎3階、郷土資料室で有償  
頒布中です(500円)。この資料集  
は区立図書館でも閲覧できます。

### わがまち再発見 ねりまの文化財めぐり

郷土資料室では皆様に楽しみながら文化財に親しんでいただくために、史跡散歩「わがまち再発見 ねりまの文化財めぐり」を実施します。今年の秋に実施予定のコースは次のとおりです。コース詳細、申込方法等は9月21日号以降の「ねりま区報」をご覧ください。

#### ●光が丘駅出発コース

◎ 実施日 10月10日(水)

#### ●池淵史跡公園(石神井プール近く)

出発コース

◎ 実施日 10月24日(水)

#### ●区立美術の森緑地(中村橋駅近く)

出発コース

◎ 実施日 11月4日(日)

#### ●本立寺(武蔵関駅近く) 出発コース

◎ 実施日 11月8日(木)

#### 【問合せ】

郷土資料室(石神井台1-16-31)

電話3996-0563



身近な文化財を訪ねます

### 尾崎遺跡出土品解説会

#### ◆尾崎遺跡(都指定史跡)

春日小学校建設にあたって、昭和54・55年に発掘調査された旧石器時代から近世までの複合遺跡です。旧石器時代でも古い時期の石器である局部磨製石斧、縄文時代早期の土器、中・近世の陶磁器などの出土品が展示室でご覧になれます。

#### 【場所】春日町5-12-1 春日小学校内

#### 【交通】練馬春日町駅(都営地下鉄大江戸線)下車徒歩8分

【日時】11月3日(土・祝)、4日(日)

10日(土)、11日(日)

午前10時～午後4時

※校内に立入る際には、必ず学校受付にお申し出ください。

#### ☆出土品の解説会

11月11日(日)

午前10時30分

～午後2時

◎学芸員が展示品を解説します。

※出土品は区指定文化財です。

### 区内にある国指定文化財・都指定文化財

尾崎遺跡のほか、公開される区内の国指定・都指定の文化財は以下のとおりです。

#### ◆練馬白山神社の大ケヤキ(国指定天然記念物)

白山神社のケヤキは2本あり、いずれも樹齢約900年と推定される、幹周りが7mを超える全国でも有数の巨木です。源義家が永保3年(二〇八三)、(後三年の役)で奥羽(東北地方)に遠征した際に、戦勝を祈願して苗を奉納したという言伝があります。

#### 【所在地】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅(西武豊島線・都営地下鉄大江戸線)下車徒歩5分

#### ◆小野蘭山墓(都指定旧跡)

小野蘭山(一七二九～一八一〇)は江戸中期に活躍した本草学(博物学)者で、その講義をまとめた「本草綱目啓蒙」48巻は、わが国最大の本草学の文献といわれています。大正12年(一九二三)の関東大震災の罹災により浅草から現在地に移転しました。

#### 【所在地】練馬4-27 迎接院墓地内(十一ヶ寺墓地内)

【交通】豊島園駅(西武豊島線・都営地下鉄大江戸線)下車徒歩5分

【公開時間】午前9時～午後4時30分

#### ◆石神井城跡 及び三宝寺池(都指定旧跡)

三宝寺池は、武蔵野三大湧水池の一つで、石神井川の水源の一つにもなっていました。三宝寺池南側の台地には石神井城跡があります。南側を石神井川に挟まれた要害の地でした。石神井城は、中世この地域を支配していた豊島氏の拠点で、文明9年(一四七七)扇谷上杉氏に仕えた江戸城主太田道灌に攻められ落城しました。

#### 【所在地】石神井台一丁目他 都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅(西武池袋線)下車徒歩15分

【公開時間】午前9時30分～午後4時30分

#### ◆三宝寺池沼沢植物群落(国指定天然記念物)

三宝寺池の中央、「中の島」周辺が指定範囲となっています。コウホネ、ミツガシワ、ハンゲショウ、カキツバタなどの水生植物を中心に、貴重な植物相がみられます。

(所在地などは、右記に同じ)

# 発掘速報！ハケ谷戸遺跡 第三次調査

ハケ谷戸遺跡は、白子川右岸の台地縁辺にある縄文時代の遺跡です。遺跡の範囲は、橋戸小学校から陽和病院あたりで、大泉町二丁目17番他に所在します。

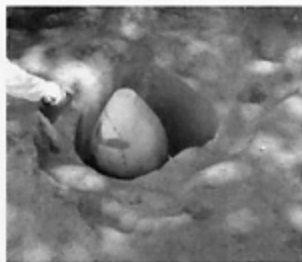
遺跡の発掘調査は、陽和病院内において病棟などの改築のために、平成4年に第一次調査、平成8年に第二次調査を実施しました。第一次調査では6軒の住居跡と屋外埋甕（子供の骨などを埋葬したといわれている）、集石土坑が出土しています。第二次調査では、住居跡が24軒みつかっており、縄文時代中期の大規模な集落遺跡であることがわかりました。出土土器のうち、大形把手付の土器は、東北地方の土器型式の影響がみられる珍しい土器で、平成11年度に文化財に登録されました。



ハケ谷戸遺跡出土の大形把手付縄文土器



大形の土器が逆さに埋設されていた土坑（墓坑）



第三次調査は、今年の4月から7月まで発掘調査が行なわれました。対象面積は、約一、五〇〇㎡です。調査区中央に広範囲の攪乱と南側が畑の畝によって失われているものの、住居跡10軒、屋外埋甕が約10基、土坑墓6基、土坑70基、集石3箇所、ピットが160個近く検出されました。



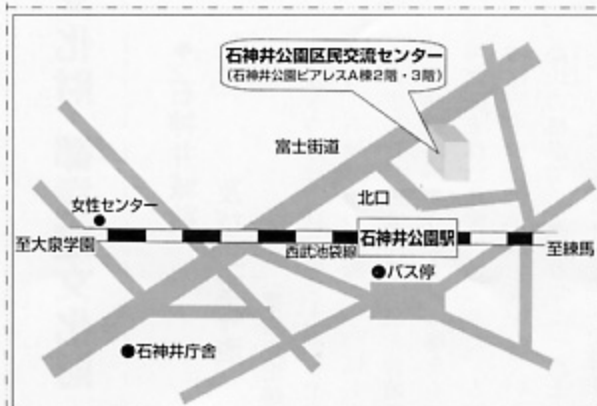
床面に逆さに置かれていた縄文土器



4号住居跡調査風景

この調査で、今までよくわからなかった墓域が明らかになりました。写真のように、土坑（穴）に土器が逆さに埋設されたりしているものが「墓」と考えられる遺構で、調査区東側に集中してみつかっています。縄文時代の中期末後葉には、口縁から底部の土器を遺体に被せ、逆さに土器を埋設しているものがあり、本例もそのひとつです。

第三次調査は、今年度中に報告書が刊行される予定です。



案内図（石神井公園駅北口下車 徒歩1分）

## 第19回練馬区伝統工芸展

練馬に生きる 匠の技

昔から伝わる技術を受け継ぐ職人の匠の技が、作品の一つひとつに込められています。

この機会に練馬の伝統工芸の「心」と「技」に触れてみませんか。

【日時】10月26日（金）～28日（日）

午前10時～午後5時

【会場】石神井公園区民交流センター（ピアレスA棟2階・3階）

※案内図参照

【概要】展示・実演・体験コーナー

【主催】練馬区伝統工芸会

【後援】練馬区・練馬区教育委員会・練馬区観光協会